

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校		
実 施 期 間	平成25年11月23日(土)		
実 施 概 要	<p>なかよしフェスタ(文化祭)の公開</p> <p>①学習発表(ステージ発表)</p> <p>②地域交流(作品展)</p>		
実 施 内 容	<p>学習・取組の分野</p> <p><input type="checkbox"/>自然 <input type="checkbox"/>歴史 <input checked="" type="checkbox"/>文化 <input type="checkbox"/>産業 <input type="checkbox"/>その他</p>		
	<p>公開の方法</p> <p><input type="checkbox"/>授業公開 <input checked="" type="checkbox"/>成果発表 <input type="checkbox"/>交流活動 <input type="checkbox"/>講演会等</p> <p><input type="checkbox"/>地域行事等参加 <input type="checkbox"/>その他</p>		
来 校 者 数	保 護 者	82人	計 124人
	地 域 関 係 者	42人	
実 施 状 況	<p>①学習発表(ステージ発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学部 重複障がい学級 低学年「9ひきのねこ」 低学年の児童はステージ発表に慣れないことから、事前に学習の様子を撮影して、9ひきのねこが冒険に出かける創作劇にした。 ・小学部 重複障がい学級 高学年「野ねずみたちの冬ごもり」 20名の児童が野ねずみに扮し、元気に冬ごもりするために集めた宝物(言葉・キラキラ・歌・色)を披露した。学級ごとに場面を区切り、日頃の学習活動の様子を工夫を凝らしながら発表した。 ・小学部 通常学級「音楽発表会」 4人の児童が、「心をひとつにして明るく発表しよう」を合言葉に、「虫の声」「だれかが口笛吹いた」を合唱と器楽奏した。後半は法被姿に変身し、「ソーラン節」に合わせて力強く和太鼓を叩いて発表した。 ・中学部「ロード・オブ・ザ・ホープ ～希望の国を救え～」 10名の生徒が森の妖精と海の妖精になり、一致団結して闇の帝王と戦うことで平和な「希望の国」を守る創作劇を発表した。一人一人の生徒が、学習活動の中で身に付けた動作や動きを披露することで、闇の帝王に立ち向かうストーリーを発表した。 <p>②地域交流(作品展)</p> <p>校内に展示用の「なかよしギャラリー」を設け、本校の児童生徒・交流校の児童生徒・地域の方々の作品を展示した。作品鑑賞を通して地域交流を図った。</p>		

成果及び課題	<ul style="list-style-type: none">・ 参観者からのアンケートでは、「みんな一生懸命頑張って上手に発表できていた」「子ども達の様子が楽しそうで良かった」「キラキラの笑顔や精一杯頑張る姿に感動した」等の感想がたくさん寄せられ、児童生徒の学習の成果を伝えることができた。また、「子ども達の力を引き出し、いろいろな工夫がされていて良かった」「先生方の指導やサポートに感謝する」等の感想もあり、当校の教育について理解を深める機会にもなった。・ 本校児童生徒の作品と合わせて、交流校の児童生徒や地域の方々の作品を展示した「なかよしギャラリー」には、ほとんどの参観者が足を止め、1つ1つのコメントを読みながら丁寧に鑑賞していただいた。本校児童生徒の作品の創意工夫や豊かな表現を通して、日頃の学習の成果を発信することができた。また、本校の児童生徒にとっては、外部の方々の作品を鑑賞することにより、表現の美しさや表現の方法について学ぶ機会となった。・ 6名のボランティアに、舞台裏での大道具の出し入れや記録写真の撮影など、ステージ発表のサポートをしていただいた。本校の教育活動や児童生徒の理解を深める良い機会となった。・ 例年のことではあるが、会場が大変狭いため、ステージ発表を別室のモニターで見なければならぬことについて改善を求める声があった。
--------	--